27　志望動機の文章を書く［実践］

　22章（ｐ52・53）では、将来の自分のことを考えました。就職するのか、進学するのか、いずれにしても、自分に適した職業に進むことが重要でした。

　その就職や進学の際に、自分がなぜその仕事に就きたいかをはっきりさせておくことが大事だとも述べました。実際、就職や進学の試験で、志望動機を尋ねられることが多いのです。

　単に履歴書に簡単に書いたり、面接で口頭で尋ねられたりするだけではなく、文章にまとめることが課題として与えられることもあります。

　そこで、ここでは、最後の文章作成の実践として、志望動機、入社動機や入学動機を文章にまとめてみましょう。

志望動機の文章の構成例

Ⅰ　結論

　理由をまとめたものを述べる。

Ⅱ　なぜその分野や業界がいいのか。

　就職なら、なぜその業界を希望するのか。

　進学なら、なぜその分野や領域を希望するのかの理由を述べる。

　注意　なぜ、そのような希望に至ったのかを、具体的なエピソードを入れて述べるとよい。

Ⅲ　なぜ、その企業や学校がいいのか。

　就職なら、その企業を希望する理由、進学なら、その大学や専門学校がいい理由を述べる。

　注意　希望先が得意とするところや力を入れているところが、自分の求めていることと一致していることを強調するなど、自分とマッチしていることを述べる。

Ⅳ　その企業や学校でやりたいことは何か。

　その企業や学校に入ったら、どういうことをやりたいのか、将来に思い描く自分のことを述べる。

　注意　単に一生懸命やるというのではなく、自分の仕事ぶりや勉強ぶりがイメージできるように説明する。そのためにも、自分の将来像を明確にしておくとよい。

　　下書き・メモ

レッスン１　　志望動機の文章を書くために、構想表を作りなさい。構想表は、上段の「志望動機の文章の構成例」を参考にして、次の空欄を埋めて作成しなさい。

Ⅰ　結論

|  |
| --- |
|  |

Ⅱ　なぜその分野や業界がいいのか。

|  |
| --- |
|  |

Ⅲ　なぜ、その企業や学校がいいのか。

|  |
| --- |
|  |

Ⅳ　その企業や学校でやりたいことは何か。

|  |
| --- |
|  |

レッスン２　レッスン１で作った構想表をもとに、志望動機の文章を次の原稿用紙に書きなさい。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

【解答】

レッスン１（例）

Ⅰ　結論

　　食の重要性と安全性を重視する貴社の成果を人々に伝える仕事をしたいから。

Ⅱ　なぜその分野や業界がいいのか。

　　妹の入院がきっかけで「食」の重要性に気づいた。そして、日常の食生活をもっと大事にすべきだと考え、その重要さを人々に伝える食品業界を希望するようになった。

Ⅲ　なぜ、その企業や学校がいいのか。

　　「食の安全性」を大事にしているから。かつて「食の安全性」が問題になったときにも、すばらしい対応をされたことがあった。

Ⅳ　その企業や学校でやりたいことは何か。

　　貴社の製品の安全性に関して自信をもって勧められるので、営業職を希望する。それによって、人々が大事な食生活を楽しく過ごせる社会作りに貢献したい

レッスン２（例）

　志望理由は、食の重要性と安全性を重視する貴社の成果を、広く人々に伝えるための仕事をしたいと考えたからです。Ⅰ

　私の妹は２年前、病気で入院しました。そのとき、治療のために食事を制限されました。食べることが大好きだった妹は、その楽しみを奪われたせいか、笑顔が消えていきました。その時、私は「食」は単に生命を維持するだけのものではなく、楽しく生きるために重要なものであることを確信しました。そして、ふだん当たり前のことに思って過ごしている日常の食生活を、もっと大事にすべきだと考えました。そこで、その重要さを多くの人に伝える仕事にかかわりたいと思い、食品業界を希望するようになりました。Ⅱ

　その中でも貴社を志望した理由は、「食の安全性」を大事になさっているからです。かつて「食の安全性」が問題になったときにも、多くの情報をいち早く公開して製品の安全性を訴えられました。そのおかげで、消費者は安心して食生活を楽しむことができたのです。Ⅲ

　私は営業職の仕事を希望します。これまで貴社の製品の安全性や、味の特色についても勉強してきました。ですから、自信をもってお客様に製品を勧め、より多くの人に製品を買ってもらうことができます。それによって、私は人々が大事な食生活を楽しく過ごせる社会を作ることに貢献したいのです。バレーボール部で培った体力と諦めない気持ちで、貴社の営業部門でぜひ働きたいと思います。Ⅳ

（進学の場合の解答例）

　志望理由は、私が臨床心理士を目指していて、貴学で心理の基礎知識と教養を得たいと考えているからです。Ⅰ

　心理学に興味を持ったきっかけは、友人の家庭でした。友人の弟が自閉症でした。ご両親は支えあって苦労されていましたが、結局、お母様が退職せざるを得ませんでした。自閉症の子供に向き合う時間を作るために、働きざかりの途中で仕事を諦めざるを得なかったのです。このようなことを知って、私は、自閉症への直接的な治療ももちろん大事だけれど、周囲の人々が抱え込む問題点の解決策を考える専門職に就きたいと思うようになりました。Ⅱ

　そんな思いをもっていろいろ調べてみました。すると、貴学では、心理の症状を、個人の問題としてではなく家族全員で解決をしていく「家族療法」について学べるということを知りました。さらに、私は大学卒業後、大学院進学を志望しています。大学院が実習で使用する心理臨床相談室には、家族を含めた集団面接を行える設備が整っていることも知りました。これは私にとって大きな魅力です。Ⅲ

　臨床心理士は、多角的、客観的に物事を見る力が必要です。私の単純な発想をただ実現するのではなく、貴学の充実した教授陣、カリキュラム、研究設備によって、幅広い視野に立った思考法のもとで、実践的な「家族療法」を身につけたいと思っています。Ⅳ